



医療法人徳洲会

札幌東徳洲会病院 広報誌

PUBLIC
RELATIONS
MAGAZINE

すこやか

SAPPORO HIGASHI TOKUSHUKAI HOSPITAL

VOL. 240

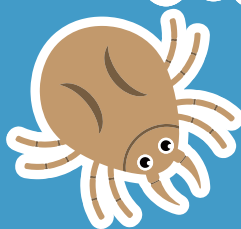
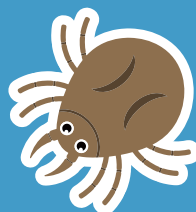
2026年夏号 8▶10

Take Free

ご自由にお持ちください

特集 北海道でも気を付けたい！

マダニ媒介性 感染症



禁煙
NO Smoking

当院は健康増進法第25条に基づき、
「館内・敷地内全面禁煙」です。ご協力をお願いいたします。

ご挨拶 院長 山崎 誠治

初夏の陽ざしがまぶしく感じられる季節となりましたが、世界情勢は依然として不安定で、物価高騰やナフサ供給不足の影響は身近な生活用品にまで及んでいます。ごみ袋のような最低限の日用品でさえ入手が難しくなりつつあり、今後は医療物資の供給にも不安が生じています。病める患者さまにご迷惑をおかけしない



よう、当院では日々の節約・節電に努め、無駄を省きながら、より効率的で持続可能な病院運営を進めてまいります。すべては患者さまのために、そして職員のために。この理念を胸に、厳しい環境下にあっても真摯に医療を守り続けてまいります。

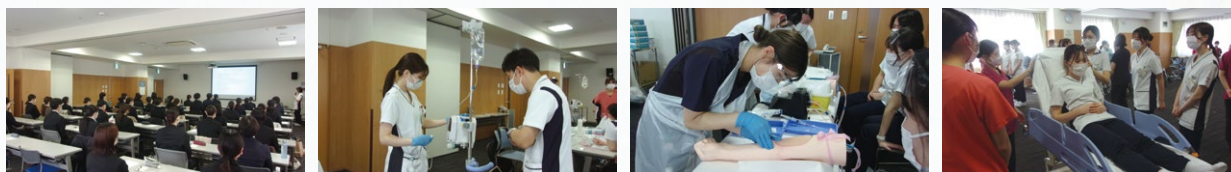
ご挨拶 看護部長 渡邊 綾

暑中お見舞い申し上げます

8月を迎え、厳しい暑さの中でも地域の皆さまが健やかに過ごされていることを願っております。院内では熱中症予防や感染対策を徹底し、安心して受診いただける環境づくりに努めております。看護部では、4月に38名の新入職看護師を迎え、患者さま一人ひとりの「心に届く看護」を大切に、スタッフ同士が支え合いながら日々の業務に取り組んでいます。今後も、より質の高い看護を提供できるよう研修やチーム医療の強化を進めてまいります。皆さまにとって、この夏が穏やかで実り多い季節となりますよう心よりお祈り申し上げます。



【新入職看護師研修の様子】



当院の理念・方針

- 生命を安心して預けられる病院
- 健康と生活を守る病院
- 患者さまの権利と尊厳を大切にする病院

- 「年中無休・24時間オープン」で、救急医療を提供します。
- 病気の治療だけでなく、健康増進と病気予防を推進します。
- 安全管理の徹底に努め、安心できる医療の提供を目指します。
- 医療技術・診療態度の向上に絶えず努力します。

特集

北海道でも気を付けたい！



マダニ媒介性 感染症



ヒトの血を吸って病原体を媒介するマダニは、北海道の野山に広く生息し、主に春～秋（概ね3～11月）に活動が活発で、特に気温が上がる5～9月は咬まれやすい時期とされています。雪解け後の山菜採りや登山、秋の行楽シーズンは長袖長ズボンなどでの対策が重要と言われています。今回は、高致命率のマダニ媒介性感染症の研究を行う、総合診療部の安尾先生にお話を伺いました。

すこやか VOL. 240

2026年夏号 8▶10

I N D E X

ご挨拶

院長 山崎 誠治 / 看護部長 渡邊 綾 2

特集

北海道でも気を付けたい!マダニ媒介性感染症 4

医療連携

医療法人社団曙 札幌北14条クリニック 8

院内紹介

四天王寺高校見学☆ 9

部署紹介

歯科口腔外科 9

健康運動

猛暑こそ気をつけたい
「フレイル」夏を乗り切るリハビリテーション 10

健康レシピ

夏野菜たっぷり彩りマリネ 11

北海道でも
気を付けたい！



マダニ媒介性 感染症



マダニ咬傷の季節になりました。山菜取りやハイキングに限らず犬の散歩でもマダニに刺されることがあります。日常生活でのダニに関する注意点をまとめました。

マダニが住む環境

マダニと家ダニは種類が違います。マダニは野生動物の生息域でしか生活できません。

マダニが成熟するためには動物からの吸血が必要です。4つ足動物が行き来するような登山道、けもの道、河川敷、山裾、農地脇、公園の林道に沿って生えている、膝丈を超える草地・茂み・ヤブに生息しています。動物が通ると落下・取りつきます。マダニは餌なしでも数か月から数年生存します。



マダニ対策

・成分にディートが入っている虫よけスプレーをします。店で普通に販売されている商品でよいのですが、濃度が高い方が効果あります。首筋、手首から肘あたりまで、足首から膝下までスプレーします。汗で流れ落ちるので3時間毎にスプレーです。

・ダニが衣類から体表に移動しないように皮膚露出を減らします。ズボン・長袖・軍手・帽子は必須です。ズボンの裾は靴下に入れ、袖口と軍手は互いに重ねてから絞ります。

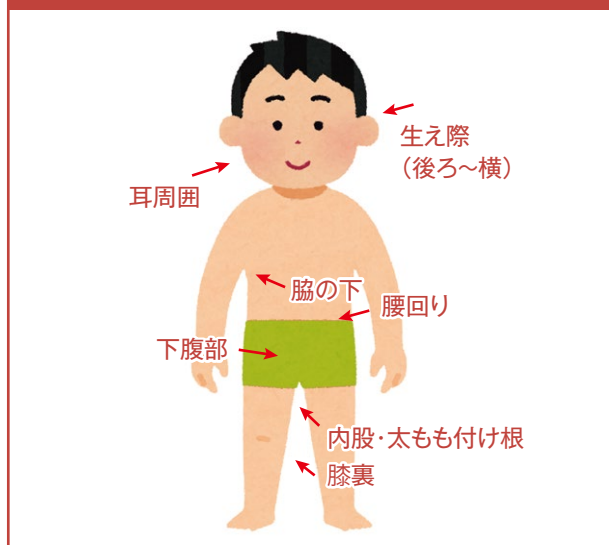
・現場から離れるときや家に入る前に、マダニが付着していないか確認しつつ上着や手袋を脱ぎます。さらに手足、首、着衣表面にマダニがいないことはこの段階でも確認下さい。

・帰宅後は、すぐに浴室で服を脱ぎます。脱いだ服も一旦ビニール袋に詰め、後で点検してください(袋に入れないとダニが移動します)。マダニがいたらガムテープを用いて、テープに引っ付けるように除去してください。



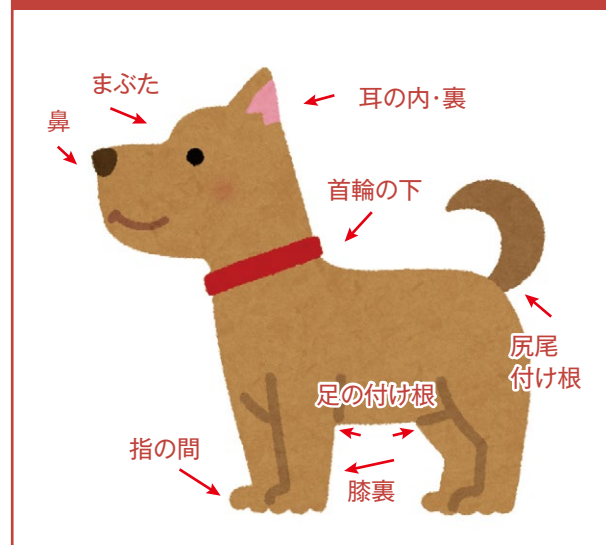
・体表にダニがいないか、全身くまなくチェックしてください。耳の裏の頭皮、わきの下、内股周囲など皮膚が薄く柔らかい所に移動して刺すことが多いですが、マダニがそれ以上移動できない状況になった所(毛髪部、深い皺)で吸着することもあります(図1)。

図1 マダニ刺傷が多い部位



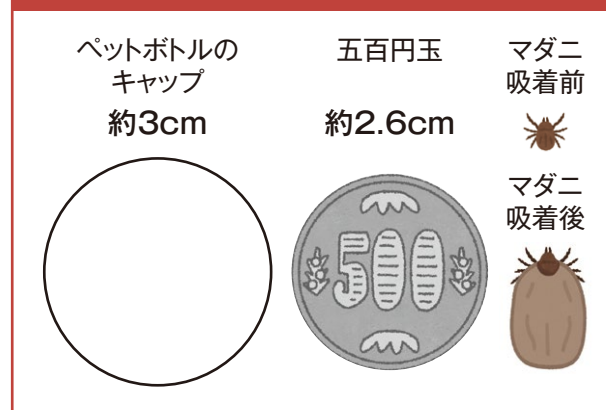
・草むら・茂み・ヤブに入ったり、顔を突っ込んだりしてペットにダニが吸着。それがヒトに移動することもありますのでペットも同じようにダニがついていないかチェック(図2)。

図2 マダニのペットへの吸着部位



・一般的にヒトに吸着するマダニは吸血前で0.5cm程度・茶褐色です(見えにくいです)。当初気づかず、マダニが吸血して大きくなってから気づくことがよくあります(図3)。

図3



ダニの外し方

ダニのくちばしには釣り針のような返しが付いていて、普通は抜けません。「チック ツイスター」という専用器具が市販されており、これをダニ頭部と皮膚の間に挿入して回しながら持ち上げると除去することができます。マダニの腹部を触らないので安全です。

ダニの腹部をもって引っ張ると確実に頭部だけ残ります。頭部が残ったら受診下さい。またダニの腹部を押す・つまむとダニの体液が皮下に注入され、感染症を貰ってしまうリスクが高くなりますので避けて下さい。ワセリンで覆うなどダニに刺激を与えると嫌がって離れることが稀にありますが(たいていは失敗します)絶対に腹部は触らないこと。

[外れない時]

吸着から数時間以内なら上記で除去できることがあります。2～3日経ってしまうとマダニ自身がセメント様物質を出し、くちばしを皮膚に強力に固定します。この段階になると、ダニが吸血に飽きて自分で脱落する以外には、絶対に抜けません。

■**ダニごと皮膚を切り取って除去するしかありませんので受診下さい。**

抗菌薬

ダニ咬傷でライム病をはじめ細菌感染が生じることがあります。道内の場合は「必ず抗菌薬を必要とする」程の頻度でライム病が発生しているわけではありません。医師によって考え方が異なりますが、一般的には咬傷の時点での抗菌薬投与は不要とされています。米国東北部の一部地域ではマダニ咬傷後のライム病発生リスクが非常に高く、マダニ咬傷時に抗菌薬を投与している場合もあるようです(北海道と事情が異なります)。

マダニの種類

生活できる気温がマダニの種類によって異なります。マダニは大雑把に南方系と北方系に分かれます。各地の平均気温の上昇に伴ってマダニに限らず、南方系生物の生息北限が北に移動しています。これに伴って生物が媒介する病気の北限も北に移動してきています。同様に北方系のダニの生息域も、これまでは寒すぎて生息できなかった地域に拡大しています。

本州以南限定の蚊は既に道南地域まで生息域を拡大していますが、南方系マダニは今の所関東以西で定着しており、関東から北に生息域を拡大している段階とされています。

ダニ媒介感染症

北方系ダニではライム病、ダニ媒介脳炎など、南方系ダニでは重症熱性血小板減少症(SFTS)、日本紅斑熱が知られています。

■**マダニに刺されてから数週間以内は次の症状が出た場合には、受診して下さい。その際、マダニに刺された時期も申告ください。**

微熱から高熱が持続、関節痛、頭痛(ひどいと吐き気、嘔吐を伴う)、だるくて生活に支障がある、刺された場所・遅れて刺された場所以外が赤く腫れる(特に赤い部分が2重になっている(図4)、意識が低下(数日単位で進行する認知機能低下・おかしい言動、傾眠、反応低下)。

図4

マダニに刺された
部位が赤く腫れた時の
二重円

最大径で5cm以上に
なることが多い



マダニが保有する病原体は、実は吸血対象の4つ足動物が保菌しているものです。マダニが動物を吸血して体内に病原体を保有。次の吸血機会で吸着したヒト・動物に病原体を注入して感染させます。マダニ媒介感染症の発生地域は4つ足動物の移動に伴って広がっていくことになるので、通常は地域を飛ばして広がることはありません。

蚊やダニが媒介する感染症では、常時感染リスクあり(地域に定着：エンデミック endemic)、単発で突発(地域に定着していない：スボラディック sporadic)に分けます。

2014年夏に東京代々木公園でデング熱患者が複数発生しましたが、単発・単年度で収束しました。これはスボラディックでした。昨年夏北海道でSFTS患者が発生しましたが、こちらもスボラディックです。北方系ダニがSFTSウイルスを保有するようになったという話ではなく、おそらくは鳥類に付着していた病原体保有ダニが落下してヒトを刺したという状況です。ただ、同様のことが頻繁に生じて地域の野生動物が保菌状態となった場合、その地域に病原体が定着してしまう(エンデミック)リスクがあります。

ダニの生活環やダニ媒介感染症については、数回に分けて当院医療講演でお話したいと思います。是非、参加ください。

※ホームページ【医療公開講座】はこちら



マダニがまだ皮膚に付いている、すでにマダニは外れていて、跡だけになっているなどの症状がありましたら、下記診療科へご相談ください。

形成外科外来 診療スケジュール

受付時間	診療開始	月	火	水	木	金	土
8:00 ~ 11:30	9:00	●	△	●	●	●	
16:00 ~ 19:00	17:00	●		●			

△ 新患のみ

外科外来 診療スケジュール

受付時間	診療開始	月	火	水	木	金	土
8:00 ~ 11:30	9:00	※	●	●	●	●	
16:00 ~ 19:00	17:00	●	●	●	●	●	

※予約患者のみ



医療 TOPICS

地域連携施設のご紹介

つなげる地域の輪

当院では地域の医療機関および介護・福祉施設と連携し、退院後も適切な医療・福祉サービスを受けられるよう地域との連携構築に取り組んでいます。



医療法人社団曙 札幌北14条クリニック

web <https://kita14-clinic.com/>

理念

生活の中に安心な医療を届ける

当院の特徴と診療方針

「生きることは食べることを支える多職種チーム医療

当院は、通院が困難な患者さまのご自宅や施設へ伺う「訪問診療」を中心としたクリニックです。最大の強みは、医師だけでなく、管理栄養士、社会福祉士、看護師兼ケアマネジャーが在籍する「多職種チーム」でのサポート体制です。

・24時間365日の安心体制

在宅療養支援診療所として、24時間365日の診療体制を整え、緊急時にも迅速に対応。

・継続的な診療の実践

比較のお元気な段階からご本人ご家族の意向を踏まえながら診療方針を決定し、年間100例以上のお看取りをサポート。

・専門職による厚い支援

管理栄養士による「食の支援」に注力。



あらい ようすけ
院長 新井 洋輔
北海道大学医学部卒



札幌東徳洲会病院との連携状況

急性期医療の要である貴院には、緊急時の迅速な受入等で多大なご協力をいただき深く感謝しております。今後も密接な情報共有を行い、入院から在宅へのスムーズな移行と、地域全体で患者さまを支える「切れ目のない医療」を共に推進していきたいと考えております。

診療科目/内科

休診日/土・日・祝

診療時間（外来）	月	火	水	木	金
9:00～12:00(受付～11:30)	○	○	○	○	○
13:00～17:00(受付～16:30)	○	○	○	○	○

※外来の診療は「予約制」となります。

※受付は、30分前までです。必ず事前にお電話でのご予約・お問い合わせをお願いいたします。

クリニック情報

〒065-0020

札幌市東区北20条東15丁目4-22

TEL: 011-748-3161

WEB SITE



経路 地下鉄東豊線よりお越しの方

「元町駅」または「環状通東駅」より徒歩7分



四天王寺高校 見学☆



今年3月26日、大阪市の私立四天王寺高校の高校生、約30名が来院されました。来院されたみなさんは、大学の医学部進学を目指しており、修学旅行中の野外研修の一環で当院の外国人患者さまの受け入れ体制を見学されました。

国際医療支援室と看護部の外国人療養環境を整える委員会が共同で対応にあたりました。写真にあるように、集合形式で、当院の国際医療支援室の設立経緯や外国人患者の受け入れ実績、実際の医療現場でどのような工夫がされているかスライドを使って説明をしました。その後、国際支援室の事務室や待合ラウンジ、主な院内表示が日本語の他、英語、中国語、ロシア語の多言語表記の実例をみながら院内見学をしました。

みなさん、熱心に説明に耳を傾け、院内見学中は案内役のスタッフに質問されていました。将来、医師になったら徳洲会で働いてみたいと思われたか定かではありませんが、将来を考える上での一助になれば幸いです。

部署紹介 歯科口腔外科

当科は1999年に開設され、地域の医療機関と連携しながら、口腔外科疾患を中心とした診療を行っており、歯科医師2名、歯科衛生士3名、受付3名で対応しています。

歯科口腔外科とは、虫歯の治療だけではなく、親知らず(埋伏歯)の抜歯、顎関節症(顎の痛み、開けにくさ)、お口まわりの外傷、腫瘍、炎症などの『外科的な治療』を行います。従って、他科や地域医療機関との連携が非常に重要となります。

例えば、循環器内科による睡眠外来と連携し、睡眠時無呼吸症候群の治療用マウスピース(口腔内装置)の作成を行ったり、手術前後、化学療法開始前、骨粗しょう症治療前の口腔ケア(周術期口腔管理)などで、院内各科(循環器内科、心臓血管外科、放射線科、乳腺外科、呼吸器科、整形外科など)からの依頼にも対応したりしています。また、地域の歯科医院・矯正歯科診療所からは、対応出来ない患者さまを積極的に当科で受け入れ、治療も行っています。

これからも患者さま一人ひとりに合わせた丁寧な診療を心がけ、安心して受診していただけるようスタッフ一同、努力してまいります。お口に関するお悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。





猛暑こそ気をつけたい 「フレイル」夏を乗り切るリハビリテーション

なぜ、猛暑に注意が必要か？

今年も梅雨の時期が短く35℃前後の日が続いています。近年の猛暑は高齢者にとって命に係わる深刻な問題となっています。ただの「暑さ」と軽視せず、身体機能や生活の質に及ぼす影響を理解することが大切です。特に注意したいのが「フレイル(虚弱)」の進行です。

フレイルとは？

加齢とともに心身の活力が低下し、要介護の一手手前の状態を指します。特徴は、健康な状態と要介護状態の間です。

主な症状

- ・筋力低下
- ・活動量低下
- ・歩行速度の低下
- ・社会的な孤独
- ・疲れやすい
- ・転倒や骨折のリスク増大
- ・食欲不振や栄養不足

猛暑の影響で外出が減り、活動量が低下すると、これらの症状が急速に増悪する恐れがあります。

猛暑が引き起こす悪循環

- ①暑さで外出が減る
- ↓
- ②筋肉量・体力が低下する(サルコペニア)
- ↓
- ③食欲が落ち、栄養も偏る
- ↓
- ④心身が弱り、転倒・入院のリスクが高まる
- ↓
- ⑤さらに動けなくなり、フレイルが進行

リハビリテーションの重要性

フレイルでは、筋力やバランス能力の低下、転倒や骨折・入院などのリスクが高まります。これらを予防、改善するために重要とされており、猛暑の時期でも安全に身体機能を維持・回復するためには「屋内での継続的なリハビリ」が有効です。

引用・参考元：

- ・厚生労働省 介護予防マニュアル第4版
- ・厚生労働省 健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023
- ・公益社団法人 日本理学療法士協会 理学療法ハンドブック シリーズ①健康寿命

理学療法士 吉田 菜央

運動の前に・・・

まずは今の身体機能を見直してみましょう。下記の項目に「3項目以上」該当すると体力の低下があるかもしれません。一つでも改善していくことを目標に運動に取り組みましょう。

- ☐ ① 階段を手すりや壁をつたわらず昇っていますか
- ☐ ② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか
- ☐ ③ 15分位続けて歩いていますか
- ☐ ④ この1年間に転んだことがありますか
- ☐ ⑤ 転倒に対する不安は大きいですか

それでは実際に運動へ

1)ストレッチ:左右それぞれ30秒×2～3セット

1-1)太もものうら伸ばし



1-2)アキレス腱のばし



2)筋力運動:5秒かけて曲げて(あげて)、そのまま5秒間止め、5秒かけて戻る。各10回×2～3セット。

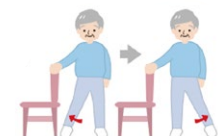
2-1)スクワット



2-2)足のうしろあげ



2-3)足の外開き



3)有酸素運動:健康維持の目標は1日合計で6000歩以上のウォーキング



Recipe
健康
レシピ

夏野菜たっぷり彩りマリネ

2人分



※写真はイメージです。

★材料 (2人分)

トマト 1個
きゅうり 1本
パプリカ 1/2個
コーン 30g
ツナ缶 1/2缶
レモン汁(または酢) 小さじ2
オリーブ油 小さじ1
塩 少々

★作り方

- ① 野菜を食べやすい大きさに切る。
- ② ツナと調味料を混ぜる。

野菜でおいしく水分補給!

夏は気温が高くなり、水分不足になりやすい季節です。水分不足は、夏バテや熱中症の大きな原因となるため注意が必要です。

夏の水分補給では、飲み物だけでなく食事からも水分を補給し、水分不足を予防することが大切です。特に夏が旬の野菜には水分が豊富に含まれています。例えば、トマト(中1個:約150g)にはコップ2/3杯分(約140ml)、きゅうり(1本:約100g)にはコップ1/2杯分(約95mL)の水分が含まれており、手軽に水分を補給することができます。また、汗とともに失われやすいカリウムなどのミネラルも含まれています。

毎日の食事に野菜を取り入れ、飲み物と食事の両方から上手に水分を補給して、暑い夏を元気に過ごしましょう!

(※疾患により水分やカリウムなどの摂取制限がある方は、医師や管理栄養士の指示に従ってください。)

管理栄養士 中浜 麻衣

当院の専門外来

※2026年4月1日より午前の受付開始が7:00から8:00に変更となりました。

【予約制】不整脈外来

【毎週月曜日】	受付/08:00~11:30	診察/09:00~	担当医/谷 友之
【毎週火曜日】	受付/08:00~11:30	診察/09:00~	担当医/中島 孝之
【毎週金曜日】	受付/08:00~11:30	診察/09:00~	担当医/松谷 健一・中島 孝之
【毎月第1,3,5水曜日】	受付/08:00~11:30	診察/09:00~	担当医/谷 友之

【予約制】睡眠障害循環器内科外来

【毎週月曜日】	受付/13:30~15:00	診察/14:00~	担当医/後平 泰信
【毎週土曜日】	受付/08:00~11:30	診察/09:00~	担当医/後平 泰信

【予約制】弁膜症外来

【毎週月曜日】	受付/14:00~16:00	診察/14:00~	担当医/棒田 浩基
【毎週水曜日】	受付/13:00~15:00	診察/13:00~	担当医/山崎 和正

【予約制】補聴器外来

【毎週火曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:30~	担当医/外来担当医
---------	----------------	-----------	-----------

鼠径ヘルニア外来

【毎週火曜日】	受付/08:00~11:30	診察/09:00~	担当医/本谷 康二
【毎週水曜日】	受付/08:00~11:30	診察/09:00~	担当医/深堀 晋
【毎週木曜日】	受付/08:00~11:30	診察/09:00~	担当医/齋藤 崇宏

【予約制】肝臓外来

【毎週金曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:00~	担当医/萩原 正弘
---------	----------------	-----------	-----------

【予約制】音声外来

【毎週火・金曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:30~	担当医/國部 勇
-----------	----------------	-----------	----------

【予約制】巻き爪外来(保険外診療)

【毎週木曜日】	受付/13:30~15:00	診察/14:00~	担当医/大沼 眞廣
---------	----------------	-----------	-----------

【予約制】脳血管内治療外来

【毎週火曜日】	受付/13:00~15:00	診察/13:00~	担当医/黒岩 輝壮
---------	----------------	-----------	-----------

外来診療表

内科

月	火	水	木	金	土
●	●	※	●	●	

※ 予約患者のみ

循環器内科

受付/08:00~11:30	診療/09:00~	●	●	●	●	●
受付/16:00~19:00	診療/17:00~	●	●	●	●	

消化器内科

受付/08:00~11:30	診療/09:00~	※	※	※	※	※
----------------	-----------	---	---	---	---	---

※ 予約患者のみ

炎症性腸疾患センター(IBDセンター)

受付/08:00~11:30	診療/09:00~	●	●	●	●	※
受付/13:00~15:00	診療/13:00~	※	※	※	※	
受付/16:00~19:00	診療/17:00~		※			

※ 予約患者のみ

呼吸器内科

受付/08:00~11:30	診療/09:00~	▲	▲	▲	▲	※
受付/16:00~19:00	診療/17:00~					※

▲ 肺がん・肺腫瘍専門 ※ 予約患者のみ

呼吸器外科

受付/12:30~15:30	診療/13:00~		●		●	
----------------	-----------	--	---	--	---	--

小児科

受付/08:00~11:30	診療/09:00~	●	●	●	●	●
----------------	-----------	---	---	---	---	---

外科

受付/08:00~11:30	診療/09:00~	※	●	●	●	●
受付/16:00~19:00	診療/17:00~	●	●	●	●	●

※ 予約患者のみ

乳腺外科

受付/08:00~11:30	診療/09:00~	△		●	※	▲
受付/13:00~15:30	診療/13:00~		●			

▲ 第1・第3・第5のみ △ 新患のみ ※ 予約患者のみ

形成外科

受付/08:00~11:30	診療/09:00~	●	△	●	●	●
受付/16:00~19:00	診療/17:00~	●		●		

△ 新患のみ

麻酔科

受付/08:00~11:30	診療/09:00~		●			●
----------------	-----------	--	---	--	--	---

新患は紹介患者のみ

※都合により診療時間・担当医の変更や休診となる場合がございます。ご了承ください。
※健康診断・人間ドックにつきましては、「完全予約制」をとっております。お電話にてお問い合わせください。
※2026年4月1日より午前の受付開始が7:00から8:00に変更となりました。



医療法人徳洲会

札幌東徳洲会病院

www.higashi-tokushukai.or.jp



〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3-1

Tel.011-722-1110 (代表)

ACCESS

地下鉄 東豊線 新道東駅 5番出口より 徒歩約5分

地下鉄 南北線 北34条駅にて
中央バス ▶中央バス東76・東78で乗車
 ▶北34条東12丁目駅で下車 徒歩約1分

自家用車 ▶伏古インター / 札幌北インター 約5分
 駐車場180台収容可能(一部有料)

LINE友だち募集!



日本医療機能評価



日本医療機能評価機構
認定第1647号

当院では、患者さまへ安全かつ高度な医療を提供するため、継続的に改善する取り組みの一環としてこの「病院機能評価」の認証を利用しています。病院機能評価とは日本の病院を対象に、組織全体運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学・専門的な見地から評価を行うツールで、患者中心の医療の推進、良質な医療の実践、理念達成に向けた組織運営から構成される評価項目を用いて評価され、一定の水準を満たした病院は認定病院となります。

※日本病院機能評価機構ホームページ: jcghc.or.jp

外国人患者受入れ医療機関認証制度



当院では、外国人患者受入れに関する認証制度「JMIP」の認証を取得しています。JMIPとはJapan Medical Service Accreditation for International Patientsの略称であり、日本語での名称は外国人患者受入れ医療機関認証制度です。厚生労働省が「外国人の方々が安心・安全に日本の医療サービスを楽しむことができるように」、外国人患者の円滑な受け入れを推進する国の事業の一環として策定し、一般社団法人日本医療教育財団が医療機関の外国人受け入れ体制を中立的・公平な立場で評価する認証制度です。

※外国人患者受入れ医療機関認証制度ホームページ: jmip.jme.or.jp